

# TVセッター **取り付け説明書** TVST-VS114

## 個人取り付けについて

**ご注意** 当商品は、DIY（日曜大工）が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意ください。基本的には、お近くの内装業者・電設業者様へ依頼をされる事をお勧めします。

**組立不良・取り付け不良、および天災等による事故等については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。**

※少しでも取り付けに疑問が生じた場合は、必ずお近くの内装業者・電設業者様にお尋ねください。

## 組立設置上のご注意

**ご注意** テレビと金具を合わせると相応の重量になります。強度のある壁や間柱（壁裏に通っている柱）にしっかりと設置してください。設置中・設置後共に、怪我やお部屋にキズを付ける事の無いよう、ご注意ください。

- ボルトやワッシャー等のねじ類を含めた部品の取り付けは、正確に行ってください。
- 設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- 以下の場所には設置しないでください。
  - ・湿気や温度の変化の激しい場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・振動などがある不安定な場所
- 電源コードや配線に傷を付ける事の無いように注意してください。火災等、事故の原因になります。

**商品には、基本的な必要ネジ類が付属されています。しかし、壁の状態によって別途、アンカー等が必要なケースがあります。**

**その場合、お客様（販売店・施工店様）がご用意の上、確実な設置を行うようお願いいたします。**

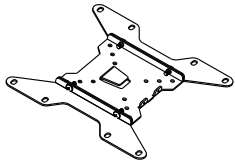
※付属のネジ類を使用した設置の強度に少しでも不安を感じた場合、ただちに作業を中止し、上記の対応をしてください。

## 設置後のご注意

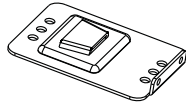
- 定期的にネジ類の緩みが無いか、壁への取り付けにガタが出ていないか確認してください。

## 設置にあると便利な道具

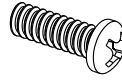
- 1) 間柱センサー - 壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。細い針やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー - ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー - 電動ドライバーです。手回しのドライバーでも設置可能ですが、あると非常に便利です。
- 4) メジャー - 床からの距離を測ったり、金具の水平を取る場合などに使用場合があります。
- 5) ペン - 壁にネジを打ち込む位置を確定した時にマーキングします。テープ等でも代用可能です。
- 6) 柔らかい布 - 設置の過程で、床やテーブルなどにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。



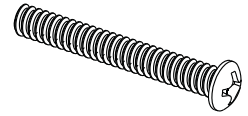
a テレビブラケット×1



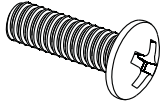
b 壁面プレート×1



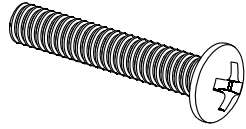
c M4 - 12ボルト×6



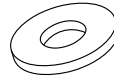
d M4 - 30ボルト×4



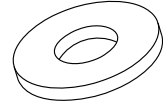
e M6 - 12ボルト×4



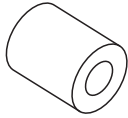
f M6 - 35ボルト×4



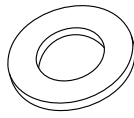
g M4ワッシャー×8



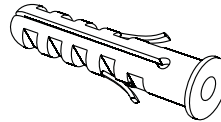
h M6ワッシャー×4



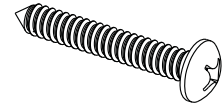
i M4/M6 スパサー×4



j ラグボルトワッシャー×4



k コンクリートアンカー×4



l ラグボルト×4



m 皿ネジ×4

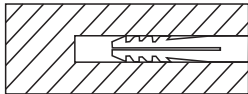
## ステップ1

## RC 構造（コンクリート）壁への取り付け

木壁や石膏ボードへの設置の場合、3Pへお進みください。

テレビを取り付けたい位置を決め、壁面プレート（b）をコンクリート壁に固定します。石材用ドリルを用いてネジ穴を壁に開けます。

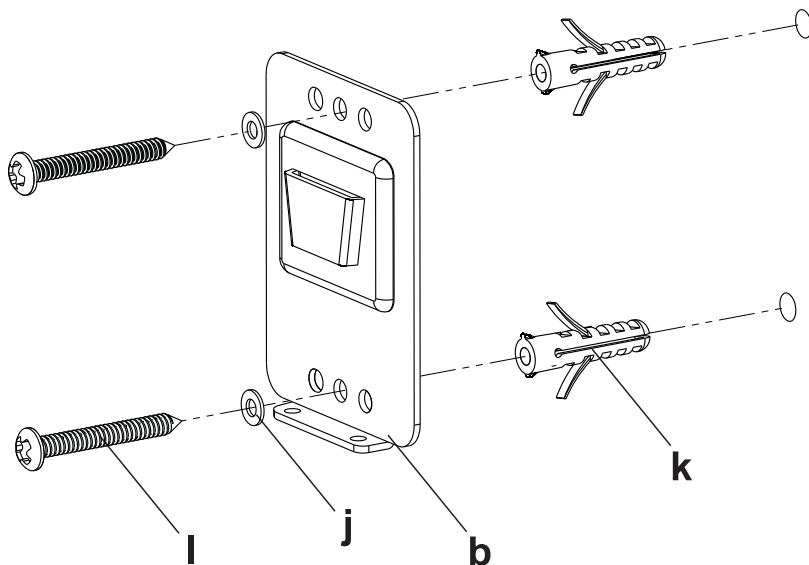
コンクリート壁



アンカーを壁と同一レベルまで押し込みます



左図のように、コンクリート壁にコンクリートアンカー（k）が入る穴を開けます。コンクリート壁にアンカーがスッポリと埋まるように押し込みます。緩みやガタツキが少しでもある場合は、設置を中断して、内装業者・電設業者様に相談してください。



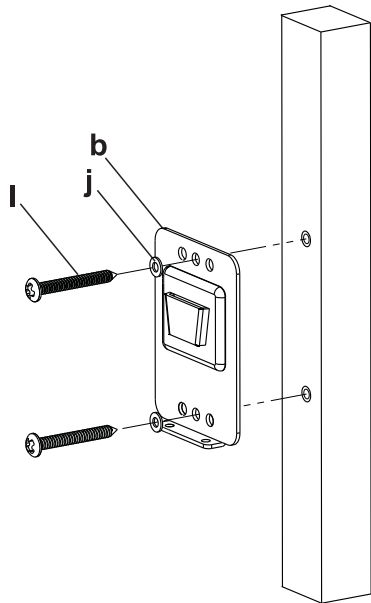
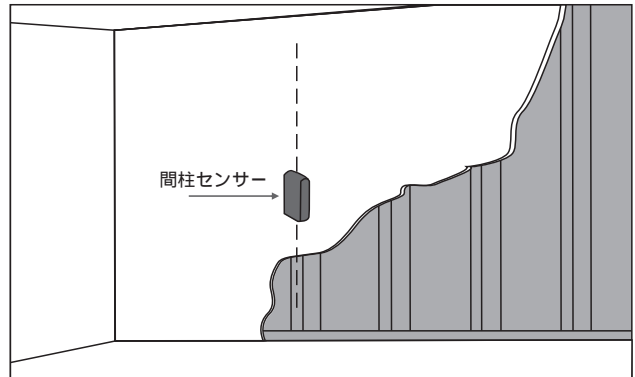
コンクリート壁

## ステップ1 間柱スタッド（補強不要）壁への取り付け

石膏ボード等の壁の場合、壁の裏側に間柱（スタッド）があれば設置可能です。くれぐれも間柱が無い石膏ボードへの設置はお控えください。壁の強度不足で落下の危険が生じます。

間柱センサー（壁裏に間柱があるかを電氣的に調べる道具です。ホームセンター等で比較的安価で販売されています）やキリ等で壁裏の間柱を見つけ、そこにドライバー（電動ドライバー）で壁面プレート（b）を取り付けます。

間柱（スタッド）センサーやキリ等を使って、石膏ボード等の裏にある間柱を見つけましょう。間柱に対して壁面ボルト（l）を打ち込まないと十分な強度が得られません。

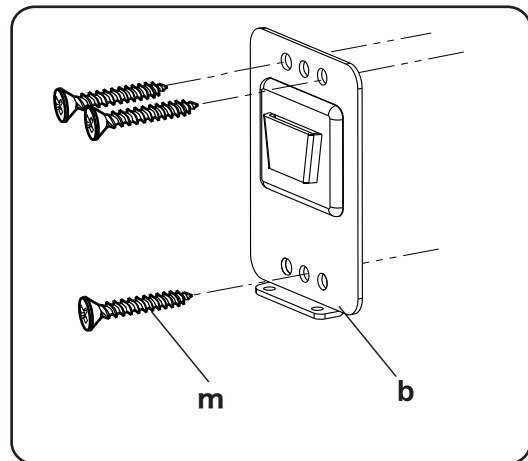


木壁、もしくは壁裏の間柱

3点留めの場合

皿ネジ（m）をお使いください。

ワッシャー（j）は、使用しないでください。



## ステップ2

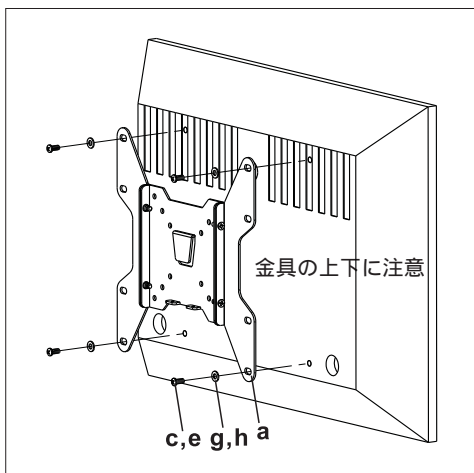
ご注意



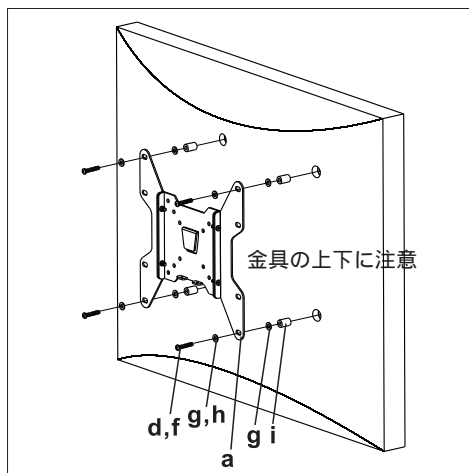
お取り付けのテレビが VESA75mm か 100mm の場合、テレビブラケットを分離して正方形の部分のみお使いください。

VESA100×200mm や 200×200mm の場合、分離せずに、下図のように設置ください。

テレビの背面がフラットの場合

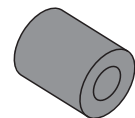


テレビの背面に凹凸がある場合



テレビの背面にあるネジ穴にネジとワッシャーを用いてテレビブラケットを固定します。テレビの背面に凹凸がある場合、スペーサーを使用して接続します。

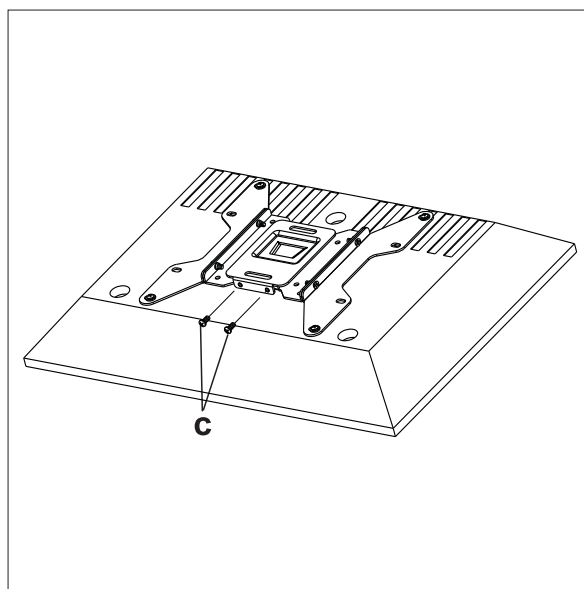
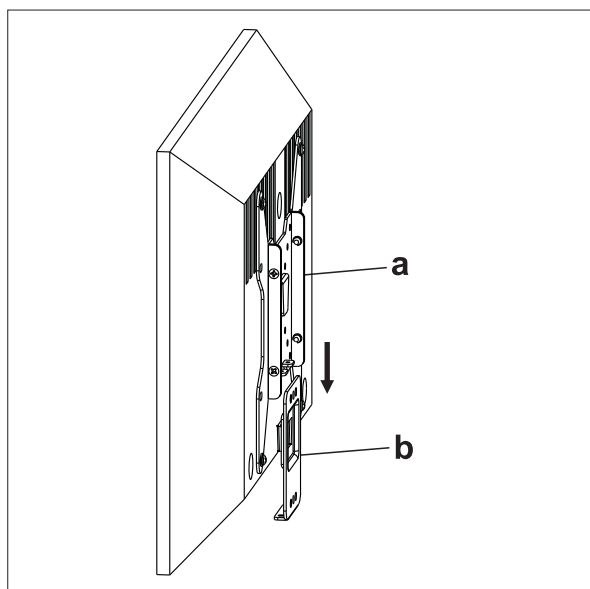
スペーサー



黒いプラスチックのチューブです。これを金具とテレビの間に入れる事で、テレビ背面の凹凸や曲面に対応します。

### ステップ3 テレビブラケットと壁面プレートの取り付け

テレビブラケットを壁面プレートに組み合わせます。M4×12ボルト(c)を使用して、固定します。



#### ご注意



最終的にしっかりと組立・取り付けが行われているか確認してください。  
少しでも不安点があった場合、お近くの内装業者・電設業者様にチェックの依頼  
をしてください。